



ブレイブボードでギネス達成

バトンリレーに111人参加

厚木・小鮎中生ら1時間走行に挑戦

厚木市立小鮎中学校（生徒357人、西山幸太郎校長）の生徒らが8月29日、ブレイブボードリレーに挑戦し、世界記録に認定された。ブレイブボードリレーは、これまで実施されたことのない種目で、ギネス世界記録を認定する「ギネスワールドレコーズ」の公式認定員を招き、生徒87人、教員12人、保護者12人の計111人が参加した。

ブレイブボードはスケートボードに似た形で、車輪が1個ずつ付

いた前後のボードがパイクでつながり、足を前後に動かして加速する構造。会場となった神奈川工科大学のKAITアリーナ（同市下荻野）で、1人100メートルの距離をバトンでつないで1時間で何人走ることができるかに挑戦し、94人が完走したと認定された。

同校が市制60周年を祝う記念事業の一環として生徒、教員、PTAが一緒に取り組める催しを実施しようと企画。生徒らは夏休みを利用して、練習を重ねて

きた。

アリーナに「頑張れ」という大きな声援が響く中、生徒たちは少しでも早く次の走者にバトンを渡そうと、懸命に足を前後に動かしボードを前進させた。競技終了後、同公式認定員が「記録達成」を宣言すると、会場は歓声に包まれた。

同中3年の永島佑真さんは「スタートする前は、転んでみんなの足を引っ張ったらどうしようかと不安でした。緊張しましたが、転ばずにバトンを渡すことができました」と喜んでいました。